

2010.09.09 平成 22 年第 3 回定例会（第 2 号） 本文

○議長（札辻輝巳君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き一般質問を行います。

通告順により質問を許します。—— 5 番吉田忠雄君。

○5 番（吉田忠雄君）（登壇） 日本共産党の吉田でございます。私は、市長に次の 2 点についてお尋ねいたします。

まず 1 点目は、児童虐待防止対策についてであります。

この問題については、去る 6 月定例議会において一般質問をさせていただいたわけですが、その後も大阪西区のワンルームマンションで起きた乳幼児 2 名の死体遺棄事件など痛ましい事件が後を絶ちません。

桜井市でも 3 月 3 日に 5 歳の長男に食事を与えないで餓死をさせた疑いで両親が逮捕、起訴されるという痛ましい事件が起こった後、市長は、このような痛ましい事案が市内でほかに存在するのか否か、また、防止のための方策を検討するよう担当部に指示をされました。

具体的には、事件が発生した翌日、要保護児童対策地域協議会の臨時会議を開催し、状況を報告するとともに、このような事案を検証し、再発防止をすることを目的に、協議会の中で児童虐待事例調査委員会を立ち上げ、特に母子保健法に基づく定期健診の未受診者及び幼稚園、保育所に入所していない未就園児のリストアップを行い、本人確認を基本にしながら家庭訪問を実施することとし、リストアップ対象者 130 名を健康推進課と児童福祉課で家庭訪問し、海外滞在者 2 名を除いて、本事案のケースがないことを確認したと、このように答弁をされました。

この短期日の訪問については、私は、市長の「今回のような痛ましい事件を二度と桜井市から出してはならない」という固い決意と、担当課の職員の努力、そして迅速な対応があったからこそできたわけですが、同時に、今回の痛ましい事件について、なぜ防ぐことができなかったのか、そして、どこに問題があったのか、市長も答弁されているように、徹底的に検証し、教訓も明らかにして、再発防止に生かしていくことが今後に必要なだと考えます。

そこで、1 点目は、市長に事件後、児童虐待事例調査委員会がこれらのことをまとめた報告書を作成しておられるかどうかお尋ねいたします。

そして、二つ目は、これも 6 月定例議会において、事件が起こってからではなしに、既に保育所や幼稚園の未就園や、乳幼児健診の未受診のリストアップが必要ではないか、このような私の質問に対して、市長は、関係部署と調整を図り、現在進めていると答弁をされました。

そして、今回、児童虐待の未然防止対策として、乳幼児の健診履歴や保育所、幼稚園へ

の就園実態などを一元的に管理するデータベース化に乗り出すということで、今議会にシステムの導入費用として2,450万円を補正予算に計上もしております。

過日、奈良新聞でも、「桜井市、乳幼児情報データベース化へ、虐待防止で県内初」というふうな見出しで、現行の情報管理システムでは、未受診児と未就園児などを別々のリストからマンパワーで探し出さなければならなかったが、各担当課にまたがる情報を共有し、コンピューターで一元管理することで、検索作業の効率が上がり、迅速な対応が可能になると、このように報じました。また、NHKのテレビでも同様の内容を報じました。

私も、乳幼児情報のデータベース化で常に乳幼児健診の未受診児と保育所や幼稚園の未就園児の実態把握ができるということでは、虐待を未然に防止するということでは一歩前進だというふうに考えております。しかし、これだけで虐待が未然に防止できるのか、実態把握と同時に、それらの家庭を訪問する専門職員である保育士の体制が現時点で確保できているのか、できていなければ、確保する必要があると考えますが、市長にお尋ねをいたします。

そして、2点目は、纏向遺跡の保存についてであります。

旧磯城郡纏向村で発見されたことから名づけられた纏向遺跡は、JR巻向駅付近を中心にして東西約2キロメートル、南北に約1.5キロメートルの約3平方キロメートルに及ぶ遺跡とされています。

纏向遺跡は、1937年に「太田遺跡」として発表されて以来、小規模な遺跡との見方がされていましたが、県営纏向団地や小学校の建設に当たって史跡調査が行われ、遺跡の重要性が浮かび上がってきました。

現在、纏向遺跡で発掘調査が行われたのは全域のわずか5%ほどで、不明な部分も多く残されていますが、40年近くにわたる調査の中で、護岸用の矢板をびっしり打ち込んだ運河と思われる大きな溝や、祭祀にかかわる多くの遺構や遺物などが検出をされています。昨年は、教育委員会による調査で南北約19.2メートル、東西約12.4メートルに復元できる3世紀前半では最大規模の建物を検出し、棚列と軸線をそろえた大小4棟の建物配置がわかってきています。

昨年11月の説明会には、全国から1万人を超える見学者が集まり、関心の高さをうかがわせました。また、この地域にある箸中山古墳は、陵墓として宮内庁が管理をしていますが、この古墳は卑弥呼の墓ではないかというふうに考えられています。

纏向遺跡は、原始社会から階級社会、初期国家への段階へ移行した日本の歴史を明らかにできる場所であり、こうした3世紀から4世紀にかけての日本の古代の始まりとも言える歴史のその証人とも言える纏向遺跡について、文化財関係者からも広大な遺跡を今後どのように保全し、整備するか早く示すべきだというふうな声も上がっています。

先日、日本共産党奈良県の主要議員の研修会が桜井市内で開催されました。吉井ひでかつ衆議院議員の文化財の保護についての研修の後、纏向遺跡の現地見学会を行いました。現在、教育委員会が昨年見つかった大型建物跡の南側の450平方メートルの学術調査を

9月末までの予定で進められています。現地で担当課長や現場責任者から、いま行っている作業の内容や、そこから掘り出されたばかりのいまから1700年前の桃の種を見ることができました。種はよく保存されており、1,000個以上出土しているということでした。

また、そのほかにも薄い木片も多数出土しており、これは私の考古学のにわか勉強から来る幼稚な考え方もかもしれませんが、当時、魏の使いが倭国の都である邪馬台国に品々を持ってきたということでありますが、当時、既に文字が使われていたということで、もし木片に纏向遺跡が邪馬台国であるというような証拠を示す当時の文字が残っていれば、大変な発見になるだろうと思いました。

その薄い木片は、水の層に守られて、長いあいだ保存されていたということで、今後、何らかの原因で水の層が干上がってしまえば朽ちてしまうことも予想されます。この国の歴史を決定づけるような重要な情報を多く秘めている纏向遺跡は、極めて重要な遺跡であります。

纏向遺跡がなくなれば、日本の歴史がわからなくなると言っても過言ではないと言えますが、市長も今年1月5日の奈良新聞のインタビューに、「国家的な支援体制を取りつけて、遺跡の解明や整備を進めていきたい」というふうに答えられていましたが、纏向遺跡の今後の保存方法について、どう考えておられるのか、お尋ねいたします。

以上で1回目の質問を終わります。

○市長（谷奥昭弘君）（登壇） 吉田議員さんの1点目の児童虐待防止対策についてのご質問にお答えを申し上げます。

今回の事案が発覚した翌日、桜井市要保護児童対策地域協議会の臨時会議を開催いたしまして、事例調査委員会を立ち上げ、未受診、未就園児の安否確認、そのリストアップ、市民啓発などの課題に即座に取り組む必要があります、家庭訪問や街頭啓発などに取り組んでまいりました。

一方、奈良県におきましては、今回の桜井市での死亡事例を受けて、その検証とともに、児童虐待の早期発見やその適切な保護のあり方などの提言をまとめていこうと、奈良県児童虐待対策検討会が設置されました。

こうしたことを受けまして、市といたしましては、本事案の検証を県の検討会にゆだね、必要な情報を提供することとし、市としては目の前にある課題を具体的に解消できるように取り組むことといたしました。

県の検討会では、関係者の状況把握や県内の実態調査などにあわせて検討が進められており、それらの結果について報告が近々まとめられると聞いております。市といたしましては、この報告を踏まえ、さらに虐待防止の対策を進めてまいりたいと考えております。

次に、議員さんご指摘の家庭訪問等における体制の整備についてのご質問にお答えを申し上げます。

既に健康推進課では現体制の中で未受診児の家庭に対して、平日はもちろん土日にも保健師が家庭訪問を行い、対応を重ねているところでございます。が、課題を抱え、支援を要する家庭の家庭訪問につきましては、その家庭状況に応じて支援の内容が異なることから、健康推進課の保健師や児童福祉課の職員や保育士が連携を密にして対応を行うよう、現在体制づくりに努めております。

次に、纏向遺跡の保存についてのご質問にお答えを申し上げます。

纏向遺跡につきましては、平成20年度から集落部分の学術調査に着手して早々、昨年度には大型建物を含む建物遺構群が出土して大変な話題となりました。現在、引き続きその周辺部の学術調査を進めてまいっておりますが、遺跡全体の解明並びに保存に向けた本格的な取り組みはその端緒についたところでございます。今後さらに調査を継続して進めていくとともに、広大な遺跡をどのように保存し、活用していくかにつきましては、現段階において、早い時期に関係機関や学識経験者などのご意見をいただき、総合的な調査整備方針をまとめていきたいと考えております。そして、その上で計画的かつ年次的に保存活用に向けた諸事業を着実に展開していきたいと考えておるところでございます。

以上でございます。

○5番（吉田忠雄君） それでは、2回目の質問に入らせていただきます。

まず、1点目の児童虐待防止対策でありますけれども、桜井市で起こった児童虐待の事件後、児童虐待事例調査委員会が報告書を作成したのかというふうに市長に問うたわけですが、市ではこれはしていないというふうに答弁されました。私は、この答弁にも驚いているわけなんですけれども、奈良県も事件後、市長も答弁されましたように、児童虐待対策検討会を立ち上げて、各市町村に協力を求めて、未就園や乳幼児健診未受診の児童の実態調査をいま進めております。これは9月をめどにまとめる方向であるというふうに聞いているわけなんですけれども、調査は共通の用紙も作成して実施し、家族形態や、また被面接者、日中の保育者、また子どもの様子、子育ての状況や、未受診の場合は理由も尋ねるといふふうにあるわけなんですけれども、他市で起こったこの事件では、県が求める調査でよいと思うんですけれども、実際に事件が起こったこの桜井市においては、5歳の子どもの命が救えなかったというこのことに対して、当事者である市が教訓を明らかにして、今後にかかすことが大変大事やと思うんですけれども、そうしてこそ虐待の予防なり発見、児童保護のための一層の強化が今後図っていかれるのではないのでしょうか。また、市長も言われましたけれども、事件が起こった直後なら、再発防止対策で手が回らなかったかもしれないけれども、事件が起こってから既に半年が経過しております。少なくとも市民の代表である議会に報告書を提出すべきです。これはいまからでも報告書を提出していただきたい。

そして、二つ目の児童虐待の未然防止対策として、乳幼児の健診履歴や就園実態などを一元的に管理をするデータベース化を行って、市がこれを手のひらに乗せる、そして専門

職である保健師などが家庭訪問を行って、子どもの様子や健康状態、また、子どもの発達や家庭のことで悩む保護者の話を聞いたりすることは、これは児童虐待を発見や予防する上で大変有効であるというふうに考えております。

それで、問題は、それを行う体制です。保健師も通常の保健業務をこなしながら、さらにこれらの家庭訪問を行うわけで、労働強化につながっていくのではないかと。また、保健師の体制も担当部長に聞いたら、14名で構成し、いま4名が子育てに専念をされているというふうに聞いています。また、日曜日の出勤や祭日の出勤もあります。保健師の仕事の過重負担とならないためにも、保健師を補充していくとか、また、保健師がいま2名でペアで家庭訪問されているわけなんですけども、これを保健師と事務職や、または保健師と民生児童委員が一緒になって訪問するなど、これはいま検討中ということらしいですけども、体制の強化を図っていただきたい。現場の職員の仕事が過重にならないようにしていただきたい。

そして、児童虐待防止対策でもう一つ市長にお尋ねしたいのは、これも6月の定例議会で質問をさせていただいた厚生労働省の育児支援ということで市町村にやらせているこんにちには赤ちゃん事業ですけども、これは生後4カ月未満の赤ちゃんを訪問するというふうな事業なんですけども、県下で12市中7市がいま実施しております。当市でも一日でも早く実施をするよう求めたわけなんですけども、市長も当時、こんにちには赤ちゃん事業については県内の状況を調査して、そしてどのような方法がいいのか現在検討しているところだというふうに答弁されたわけなんですけども、その後の取り組みはいまどうなっているのかお尋ねいたします。

そして、次に、2点目の纏向遺跡の保存についてであります。

私は、纏向遺跡の発掘調査や遺跡を整備して、そして今後活用していく上でも、全面的な保存をしていくべきだというふうに考えております。これに対して、発掘や保存について、市もそうなんですけども、これは教育長に直接答弁をもらったならよかったなというふうにいま考えたわけなんですけども、これは通告しておりませんので、そのように、結構なんですけども。

現在、発掘調査を担当している桜井市の教育委員会なんですけども、教育委員会は、この遺跡の面積が大きいことから、調査を終えたところから個別に史跡指定をしていくというふうにしておられるんですけども、面ではなく、点と点を結ぶ部分的な保存の立場に立っておられると思います。私は、このような部分的な保存ではなしに、遺跡全体を保存していく、遺跡全体を史跡指定にしていくことが大事だというふうに考えております。

それはなぜか。一つは、古墳なんかは割と指定もされやすいんですけども、纏向遺跡のような地下の集落遺跡や都市遺跡などは、全体を掘ってみなければわかりません。いまかなりの研究者たちが、あそこが邪馬台国の中心部だというふうに言い出しているわけなんですけども、昨年出土した遺跡があと幾つか出るだろうというふうにも言われているわけなんですけども、何しろ部分的にしかいま掘られていないので、確定的なことは言えないわけ

なんですけども。教育委員会は発掘に非常に熱心で、先行的に、開発がなくてもいま調査しておられます。しかし、いまも言いましたように、部分的に調査をして保存する立場をとっておられます。それではなしに、もっと組織的に調査を行って、全体像をつかむ調査をやる必要があると思います。県や国から援助をもらって、計画的な学術調査を行って、纏向遺跡の実態を早く明らかにする。試掘調査を含めた遺跡全体を把握する調査を早くする必要があります。国家の起源を明らかにしていくような重要な遺跡は、本来、これは国が責任を持って行うべきです。市の財政は大変なので、経費を出してもらうことも必要です。そうすれば、遺跡のこの全体像も大まかに把握でき、纏向遺跡を全面的に残せば、また、これは今後の利用価値も出てきます。観光客や考古学のファンが訪れても、部分的にしか残っていなければ、本当に魅力のない遺跡になってしまいます。遺跡全体を史跡指定した後の史跡公園化構想も立てやすくなります。また、遺跡の出でこないところもわかってきますから、イベントをどこでするとか、駐車場をつくったり、道やトイレをどこに持ってくるか、こういうこともわかってきます。

そして、もう一つは、現在、纏向遺跡の地域内で、これまでは市街化調整区域で開発行為や建築が基本的にできなかったのが、できる区域に指定をされました。国の規制緩和の中で、県が市街化調整区域の中で新たに開発許可の基準を設けたからです。市の産業建設部もUターンした子ども世帯の家を建てたいなど、地元住民の要望があるので、商業ベースでの開発については望んでいないと、こういうふうに説明もしておられますが、名前を伏せませうけれども、既に民間業者による36戸の宅地開発も行われております。今後、区域の指定内では、民間業者も含めてだれでも住宅の建設が可能になります。景観がどんどん変わっていくことも予想されます。既存の集落を守って、開発を抑えることも大事です。周りに住宅がたくさん建っているところに、観光客や考古学ファンが訪れても、これは本当にがっかりします。

先ほど土家議員の質問にもありましたけれども、市長はいまも纏向遺跡を世界遺産登録にしたいと考えておられるのかどうかはつきりわかりませんが、世界遺産というのは、古墳なら古墳だけではなく、周りの景観など、周りのバッファゾーンも保存しないと世界遺産にはしないということになっております。国の史跡指定を受けるには、市や県や地元が強力に動かないと、国から言うてきません。部分的に発掘をして、発掘が終わってから建物が建つ、非常に重要な遺跡だとわかったときには、既にこれは虫食い状態になっている。いまさら指定しても、あと売るとならないようにしなければなりません。そのためにも、これは急ぐべきです。日本の古代の始まりとも言える、歴史的証人とも言える纏向遺跡の全域の確定と、全面的な保存、史跡指定などの遺跡の保存が求められます。そのためには、地域の住民の方々、また地権者の皆さん方の理解と協力を得ることは欠かせません。県や国にも働きかけて、強く働きかけて保存に取り組むことが必要ではないかと私は考えるわけなんですけども、再度市長の答弁を求めて、私の質問を終わらせていただきます。

○市長（谷奥昭弘君） 再度のご質問にお答えを申し上げたいと思います。

児童虐待の問題でございますが、先ほども少し触れましたが、庁舎内での情報の共有や市総体で取り組むべく調整や検討を現在重ねておるわけでございます。1回目のご答弁で申し上げましたように、その当時、全体的なところの検討は県に任せて、私たちの目の前の課題について、130名ほどの家庭訪問をして、最後、ゼロになるまで保健師さんをはじめ職員がしていただいたわけございまして、同時にまた、議員さんもお指摘いただきましたように、システム導入によって瞬時に対応できる情報が得られると。いままででしたら、あっちこちの情報をみんな見比べやんな、人間の力でやらなければならないところがあったんですが、今回は、これができまして、入力が完成いたしましたら、もちろん1年に1回とか1年に数回、若干の修正をしなければいけないんですが、そういうことで、そのシステムを奈良県下で、新聞にも載っていましたように、はじめて提供するというごことございまして、これによって、議員さんがご指摘の対策としてはかなり進むんじゃないかなと思っております。あとは、要は、それで出た未受診者とか未就園児の方々を保健師さんや市の職員や保育士さんが家庭訪問させていただくというような機能的な入り口はできたんじゃないかなと私は思っております。ですから、来年4月には稼働すると思っておりますので、目の前の課題の問題についてはできたように思います。

それから、議会にも報告せよということでございまして、若干、趣旨と違うことになるかわかりませんが、県のほうの検討会で報告書が出ると思っています。出ましたら、我々としても、この方法をもちまして、考えていきたいなと思っております。この件につきましては、担当部長にお答えをさせます。

それから、議員さんご指摘のこんにちは赤ちゃん事業の具現化に向けては、いま検討を行っておるところでございまして、遅いと言われるかわかりませんが、大体23年のはじめぐらいをめどに、年度ですよ、いまのところ考えております。ご理解を賜りますようによろしくお願いいたします。

それから、纏向遺跡の保存の問題について再度のご質問でございます。確かに纏向遺跡の場合、議員さんがご指摘の2掛ける1.5でも300万平方メートル、物すごく大きい形になりますね。小さなゴルフ場でしたら三分ぐらいになりますから。そういうことで、あちらこちらに遺跡の上に集落が点在していることなどから、全体を指定するというのは、いまの時点では大変困難でございまして、文化庁が指示の仕方を言うているのは、一応、本来は全部掘れと。掘った上で史跡の指定をするということございまして、吉野ヶ里を例にとりますと、あれは174ヘクタールだったと思うんですが、あれは県有地でございまして、そして、工場用地をつくるというときに文化財調査をやったら当たってしまったということで、県有地でございましたので、順番にほとんど掘って、そして、指定を受けたというようなことにもなっておるようございまして、同じ手法で纏向遺跡を一遍に指定するということは困難だと思いますので、文化庁の指示では、古墳も掘ったところが

ございますが、いまの遺跡のところも大体4,000坪ございますので、あらかじめ区域がわかるような形で掘れたら、順番にしていこうと。それを点とおっしゃるのでしたら、それは点には違いないんですが、それらを突き合わせていったら、その中をまた追加で史跡指定するというような考え方を文化庁は持っているように思われます。もちろん、文化庁の指示どおりに全部するということでもないだろうと思いますが、できるだけ早くそれらのことにつきまして考えていかなきゃいけないということは考えておるわけでございます。

先ほど土家議員さんに対してもちよっぴり報告いたしました。9月県議会で党派の違う数人の方がこの問題についてかなり積極的にご質問をいただくようございまして、県のほうも、私がちらっと内聞したところによると、前向きな答弁をしたいというようなことも幹部職員が私に耳打ちをさせていただいたので、それらもお聞きさせていただいて、できるだけ早く、その当時の時代としては日本でナンバーワンの施設であろうと思っておりますので、桜井の大きな貴重な財産となれるようにこれからも頑張っていきたいと思っておりますので、ぜひご理解をいただきたいと思っております。

以上でございます。

○福祉保健部長（西浦 哲君） 吉田議員の質問にお答えいたします。

まず、3月3日に起こった事件に対する調査研究報告書を市のほうでつくって、報告せよというお話でありましたけれども、実は3日に事件が起こりまして、先ほど市長が答弁、説明申し上げましたけれども、桜井市のほうで事例調査委員会を立ち上げて、いわゆる未受診、未就園児の安否確認等々をすぐ実施すると、その中で検証という部分もその事例調査委員会でやろうということで話は進めておりました。その後すぐに県のほうから児童対策検討会を発足させて、桜井市のこの事件に対する検証を実施するという申し出がありました。それに対して、市のほうからいろいろ協力してほしいというお話もありました。その中で、同じ事件に対しまして、市も検証し、県も検証するということよりも、市といたしましては、県のほうへ持っている情報をすべてお出しすることによって、県のほうで第三者的な立場から検証していただけるほうが冷静な、よりよい検証結果が出るのではないかという判断のもと、その辺の研究あるいは検証等については県のほうにゆだねたという経緯があります。そういう形でやらせていただきましたので、今度、9月中に多分その報告書が出るということでありますので、出た場合、その報告書に基づき、また桜井市として参考に今後進んでいきたいと思っております。

それから、職員体制につきましては、大変ご心配をおかけしておるわけなんですけれども、いま現在で保健師といたしましては10名おります。休んでおった職員も9月に戻ってきておりますが、ただ、まだ現体制は7名の保健師でいま現在その調査を行っております。今後とも現職員の中で何とかやっていきたいと思っており、ただ、過重労働にならないように注意しながらやっていきたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。